

1. 遺跡名 宅間谷東やぐら群  
(たくまがやつひがし)

2. 所在地 鎌倉市浄明寺2丁目

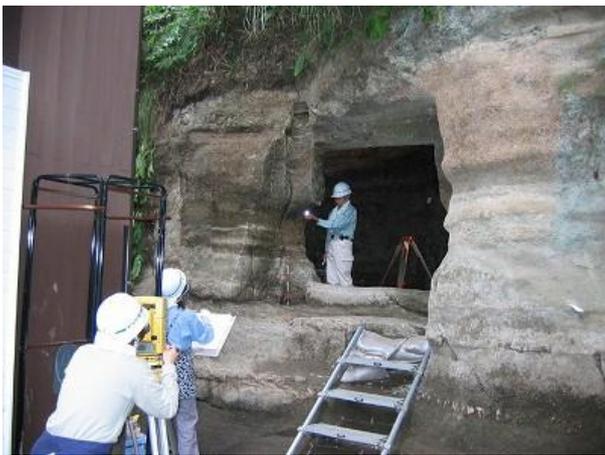
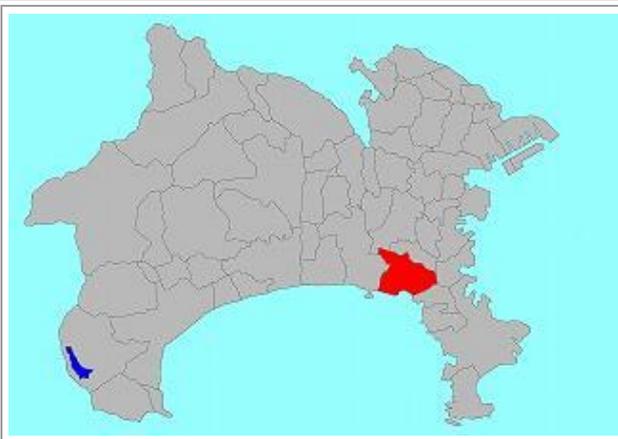
3. 時代 中世

#### 4. 調査概要

本やぐら群は、竹の庭で著名な報国寺の近くに位置します。昨年度の調査では、やぐら5基と、13世紀代の溝、柱穴などが発見されています。

今年度は、残りの良い、比較的大形のやぐら4基を調査しました。8号やぐらの前面には、斜面の中腹に造り出された平場を取り囲む溝などが発見されました。

出土遺物が少なく、正確な年代は明らかではありませんが、江戸時代の報国寺絵図には、この平場の近辺に仏殿が描かれており、寺院の施設との関連が考えられます。



6号やぐら



8号やぐら



8号やぐら前面の遺構